

## 吉野川を釣る！

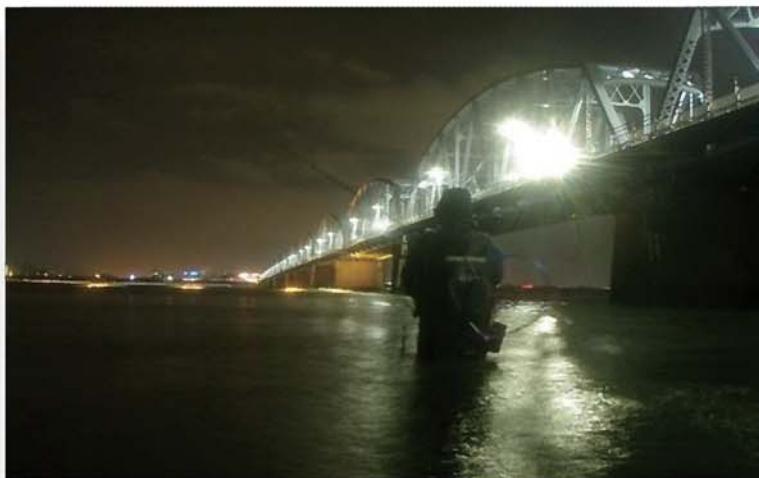


(夜の吉野川大橋北岸)

はじめまして。「吉野川を釣る！」に初投稿！吉野川の住人Mです。私は、ルアーでシーバス（スズキ）を狙って年間200日以上にわたり吉野川をあちこち走り回っています。今回は、吉野川を愛する釣り人ならではの目線で、吉野川の素晴らしさについてシーバス釣りを通じてお伝えできればと思います。

ターゲットとなるスズキは海水魚ですが、餌となる小魚を求めて河川の汽水域や淡水域まで上ってくるのでわりと身近な河川で釣りを楽しむことが出来きます。

今回は、国道11号線に架かる吉野川大橋と県道39号線に架かる吉野川橋の下で1月のナイトウェーディングゲームをご紹介いたします。



(吉野川橋でのウェーディング)

ウェーディングとは、ウェーダーという胸までの長靴を履いて水の中に浸かって釣りをするのですが、魚との距離が近く、まるで自分も自然の一部となつたように感じることが出来ます。

しかし、この季節のウェーディングは水温も冷たく長く水に浸かっていると足の感覚が無くなってくるので要注意です。

まずは、上げ潮の吉野川橋の南岸でシーバスを狙います。吉野川の第十堰から下流は汽水域になるので上げ潮の時、川は下流から上流に向かって流れ、逆流します。1月からはこの上げ潮にのってシラスウナギ(ニホンウナギの稚魚)が吉野川に入ってきます。

吉野川ではそのシラスウナギを狙ったシラスウナギ漁が盛んで、明るい光を放つ船がいくつも吉野川に浮かぶ様子は実に神秘的で冬の風物詩となっています。



(吉野川橋の上から見るシラスウナギ漁の風景)

この日もシラスウナギ漁の船が行ったり来たりするので邪魔にならないように釣りを開始します。

このポイントはシャロー（浅瀬）が広がっているのですが、新町樋門からの漁船が通る筋だけ少し深くなっています。シーバスはそういう地形の変化でじっと餌となる小魚を待ち構えてたりするのでそこまでルアーが届くように、ウェーディングをします。その船道の上あたりでふわふわと弱った小魚が漂うようにルアーを動かすと早速、60cmくらいのシーバスが釣ってくれました。



(吉野川橋で釣れた 60cm程のシーバス)

## Our よしのがわ

次に、橋の上の明かりと影の境目を狙います。シーバスは暗い影に身を潜め、街灯の明かりに集まった小魚を捕食しているのでこういった明暗もシーバス狙いの一級ポイントです。

ゆっくりと川の流れに漂うように明るいところから暗い影の部分にルアーを流しこむと今度は 75cmを超える良型のシーバスが釣れてくれました。



(吉野川橋で釣れた良型のシーバス)

上げ潮から下げ潮に代わり、反応が無くなったので場所を吉野川橋から吉野川大橋北岸に移すことにしました。

吉野川大橋北岸は、岸際から10m くらいまで大きなブロックが敷設されていて、その先から急に深くなっているのでそのブロックの影に身を潜めているシーバスを狙います。

ここでは、道路照明の明かりが落ちてきて明るいため、シーバスがルアーに飛びつく瞬間を見ることができました。

まず最初に釣ってくれたのは50cmくらいのシーバスです。



(吉野川大橋北岸で釣れた 50cm 程のシーバス)

そして、沖のほうに出来た潮目に向かって遠投したルアーに飛びついて来たのは **70cm程の良型**です。このシーバスは遠くでかけたため、大きなエラ洗いを見せてくれました。

エラ洗いとはシーバスが水面からジャンプし大きく首を振って口にかかったルアーを外そうとする行為です。魚とのファイト中のこういった大ジャンプもシーバス釣りの醍醐味です。

私の投稿はここまでです。最後まで読んでくれてありがとうございました。またいつの日か皆さんに、吉野川で釣るシーバスの魅力をお伝えできる日を楽しみにしています！！



## 注意

(大きなエラ洗いを見せてくれた良型のシーバス)

吉野川でのウェーディングは非常に魅力がたくさんあるのですが**危険**もいっぱいです。例えば、急に深みにはまったり、潮の満ち引きで岸に帰れなくなったりするので注意が必要です。また、吉野川にはアカエイが生息しています。アカエイは尾の付け根に鋭利なノコギリ状の毒針があります。間違えて踏んだりしない限り、刺されることはあります。注意が必要です。

**必ずライフジャケットを着用し、安全装備でウェーディングゲームを楽しんでください。**



- ① ライフジャケット  
浮力材タイプのものが必須！  
ポケットが多数あるものが便利！
- ② ウエーダー  
胸まであるタイプがおススメ！
- ③ ウェーディングステッキ  
水深の確認やアカエイ除けのために！
- ④ ランディングネット  
大物を逃さないためにも！

